

比地滑り 泥の海 村を丸のみ

住民「数秒の出来事」

【ギンサウゴン（比レイテ島）＝遠藤富美子】大規模な地滑りがあったフィリピン中部の南レイテ州（レイテ島）の被災現場近くに

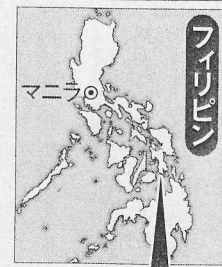
18日、入った。地滑りが起

て土砂が広がるように流れ、一帯は泥の海。押しつぶされた民家の残骸や倒れたヤシなどが点在するだけで、ふたん穏やかな農村は、まるごと消滅した。

大きな音がして、土がぼくに押し寄せてきた」と声を絞り出した。顔は傷ではれあがっている。また、地滑り発生の直前まで現場にいたセントバーナード町職員のユーロヒロ・ダラさん(43)は、「地球

家の前で、土砂に押し流された車の下敷きになったジェフェリー君(13)は、収容先の病院で「雷のような

が揺れたようだった。地滑りはすさまじい速さで、わ



フィリピン



ギンサウゴン地区

ずか数秒の出来事だった」と話した。土砂にのみこまれた後、携帯電話のメッセージで「私は生きている。どうやって助けてもらえるのか」と家族に生存を伝えた被災者も何人かおり、地元の人たちが捜索に向かった。しかし、土砂は大量の水を含み、救助隊員はひざまで泥に埋まって前に進むことすら困難な状態だ。泥の厚みは数センチから30センチあり、重機を使っても土砂の除去作業は思うようにはかどっていない。18日朝から車の輸送機などで救援物資の搬送が始まった。だが、被災地では食糧や医療品、救出作業に使う重機類が極端に不足しており、南レイテ州のレリアス知事は国際社会に支援を呼びかけている。



起きたギンサウゴン地区で、土砂に押しつぶされた民家付近を捜索する救助隊員ら（AP）



18日、地滑りが起きたギンサウゴン地区で、土砂に押しつぶされた民家付近を搜索する救助隊員ら（AP）